

## 情報連絡員報告・2月分

## 製造業の「売上高」DI値 再びプラスへ

～ 米国BSE、鳥インフルエンザの影響深刻～

&lt; 東京都中央会 &gt;

2月の情報連絡員報告によると、製造業の「売上高」DI値が、昨年11月以来再びプラス4.6になっていることが明らかになった。一方、GDP 7%の伸び（15年10～12月期の年率換算）と発表されたが実感はない、という報告もあるので、今後注目する必要がある。米国BSE、鳥インフルエンザは、食肉卸、飲食店、ペットショップなど各方面に影響している。食の安全をPRしてほしいとの声も寄せられている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

## &lt; 特記事項欄より &gt;

食肉市場卸=米国BSE、鳥インフルエンザ発生に伴う食肉全般の売上不振・減少、さらにディーゼル車規制、消費税総額表示など流通卸は非常に厳しい状況。

ペット販売=大分での愛玩鳥のチャボの高病原性鳥インフルエンザの発症でまったく市場が動かないどころか、引き取りを要請される事態である。売れないところへ売れる商品がなく、さらにペットショップに来る客の減少と状況は厳しい。

古書籍販売=2月中旬に発表された昨年

10～12月期の実質成長率は13年ぶりに年率7%の高い伸びになったそうだが、古書籍業界の中では実感がない。

理容用品卸=理容と美容の垣根が低くなるにつれ、美容室っぽい理容室に若い男性客や女性客がやってきて、全体的に活気が見えてきた。こうした活気あるサロンの情報が強く求められており、ディーラーにとって情報提供は主要な業務になってきた。

青果物小売=消費税が4月1日より総額表示方式に変わるため、レジの設定や交換等大変である。ディーゼル車規制もあったので中小企業の資金繰りは厳

しい。

秋葉原電気街=秋葉原再開発工事は順調に進行しておりビル店舗の後ろから、超大型のITビルの鉄骨が顔を出し、一日ごとにその高さが伸びている。

米穀小売=平成16年に入り、1・2月に自主米の入札価格が値下がりしました。何とかこの値下がりをご好転の材料としたいのですが、消費者の米離れが顕著であり難しい状況です。

鮮魚小売=BSE、鳥インフルエンザ等の影響があると思っただが、あまりなかったようだ。

包装材料販売=通販とホームセンターの包装資材への参入により小口販売の価格から大口まで売価が低迷している。

大田区商店街=消費低迷は当地区において長年親しんだ物販店を廃業に追い込んでいる。40年来の大型チェーン

トヨーカードが2月末に閉店した。

運輸業=鉄鋼関係に荷動きの活発化が見受けられるが全体としては引き続き低調。企業間格差が拡大し、車両30～50台の企業が厳しい様子。

### <要望事項欄より>

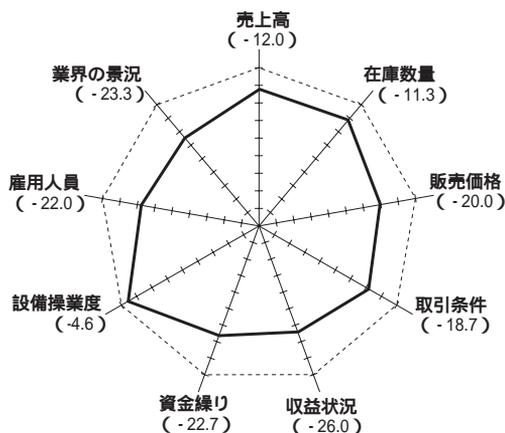
\* 食品表示に関する豆腐用原料大豆の原産地表示義務化対象拡大に反対する。売上が低迷し、国産及び輸入大豆が高値続伸していることや消費税対策にも苦慮している状況にあることをご理解願いたい。 [豆腐製造小売]

\* 食の安全性を消費者にPRして欲しい。 [大田区飲食業]

\* 新工法・新技術を開発したのにその施工受注機会になかなか恵まれずにいるので、地方行政によるパイロット分離発注の道が開かれることを期待する。

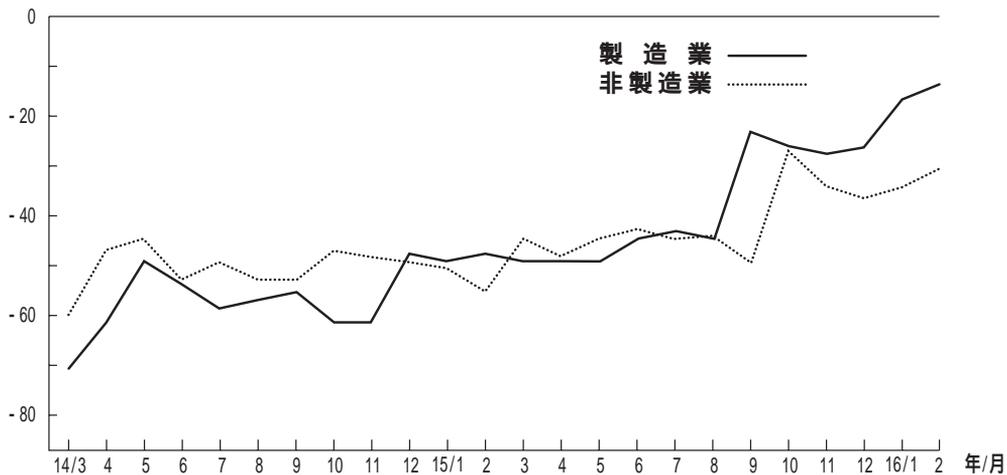
[基礎工業]

2月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）

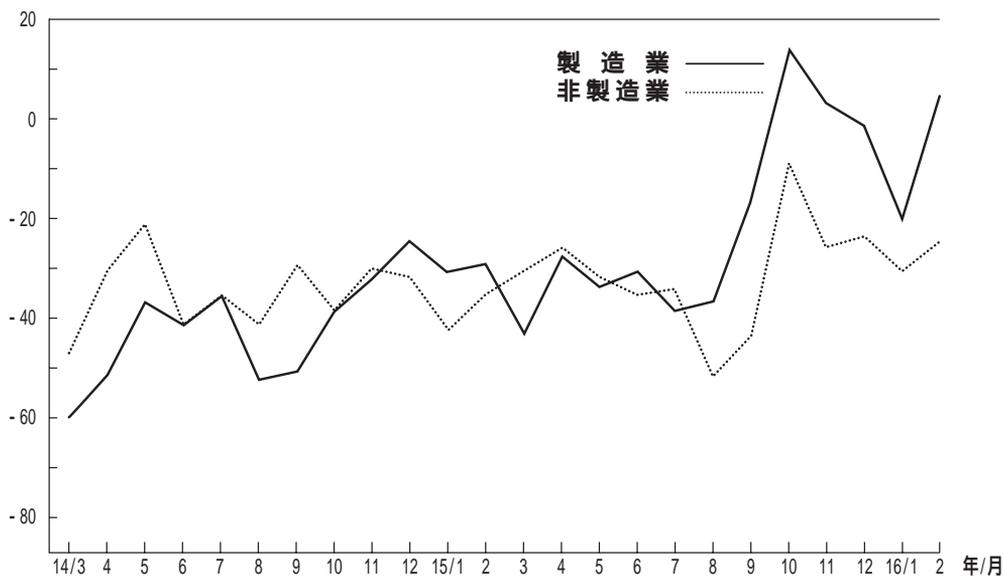


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H14.3～H16.2）  
（前年同月比）



売上高DIの変化（H14.3～H16.2）  
（前年同月比）



（注）DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。